

あとかき

当協会にて、25年前に作成・発行を開始した調査研究報告書は、昨年度版より印刷物としての発行・配布から、より多くの人の役に立つように、Webでの閲覧をベースとしたデジタル化を進めた。そのために当サポートサービス委員会の中に設置したデジタル化推進チームでは、本年度はさらに①デジタル配布形態の充実、②双方向性の充実、③利用者のニーズに応える形式と内容の提供、を主題として取り組んだ。具体的には、多くの方々が調査研究報告書を見つけやすいようなホームページ設定、広く誰でも閲覧可能な「報告書概要版」の新規作成、閲覧者からの評価やコメント入力対象の拡充、グラフのカラー化など、種々工夫を凝らした。

報告書のテーマは昨年度に続き、「働き方改革」と「デジタルトランスフォーメーション（DX）」であったが、定点調査の「ITシステムの整備状況」の中で、特に「ランサムウェア対策」についても調査した。当協会の広報委員会では、会員を対象に景気動向調査を毎年5月と11月に実施しているが、その中に「現在、貴社が関心のあることにチェックしてください」との質問がある。本年度の調査では、2回の合計値で「DXの進展」、「情報セキュリティ関連」、「働き方改革の進展」がトップ3を占めており、本報告書のテーマ選定は、協会会員各社への参考資料としても、まさに当を得ていたものと思われる。

また、2007年度から報告書と併せて発行してきた「ITに関するやさしい解説書」についても、昨年度より事例中心に変更し、報告書と同様にデジタル化した。テーマは報告書と同じで、「働き方改革」、および「デジタルトランスフォーメーション」の構成となっている。昨年度の内容に加え多くの委員会メンバーが、自社事例から公開可能なものを追加して拠出・執筆した力作で、広く一般に公開されているのでぜひ参考にしていきたい。

さて、本年度も、過去2年度と同様に、新型コロナウイルス感染対策による影響のもと、当委員会も引き続きいろいろな制限を受けての活動を強いられた。委員会活動のうち、ディスカッションの場としてはとしては、4回の主委員会、8回のワーキングチーム会議、6回の執筆会議、さらに16回のデジタル化推進チーム会議を開催した。昨年度はそのほとんどがWeb会議であったが、本年度は実会議+Webのハイブリッド開催として3回、実会議として3回実施し、懇親会も併催できた。「実際に合って話し合えることの良さ、効果」を再認識する声も多く、またWeb参加の利便性、有効性もあるので、今後も運営形態については最善形式を追求していきたいと思う。例年3月には、年度活動の打上げを兼ねた懇親会を開いていたが、残念ながら過去3年間は開催を見送ってきた。ぜひ本年度は4年分まとめての懇談の場を設けたく、準備を進めている。

本報告書や解説書（事例集）が、より多くのご協力会社、協会会員、および広く関係各位の参考になり、ビジネスのお役に立つことを、委員会メンバー一同とともに切に願っている。

一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
サポートサービス委員会 事務局